

コース  
NO.25

田園風景と万願寺川のせせらぎを楽しもう

かわい まんがんじがわ  
川合の里と万願寺川散策コース

最寄駐車場：いこいの村はりま  播磨国風土記ゆかりの地コース

約 11 km

一般向

約2時間25分  
(休憩時間を除く)

所要時間の目安

いこいの村はりま  
スタート

約45分

西の垣内古墳

約25分

乎疑原神社

約25分

鳥ヶ池

約50分

いこいの村はりま  
ゴール

【問合先】  
加西市観光案内所  
(北条鉄道 北条町駅内)  
TEL 0790-42-8823

乎疑原神社  
TEL 0790-49-0256

コースガイド

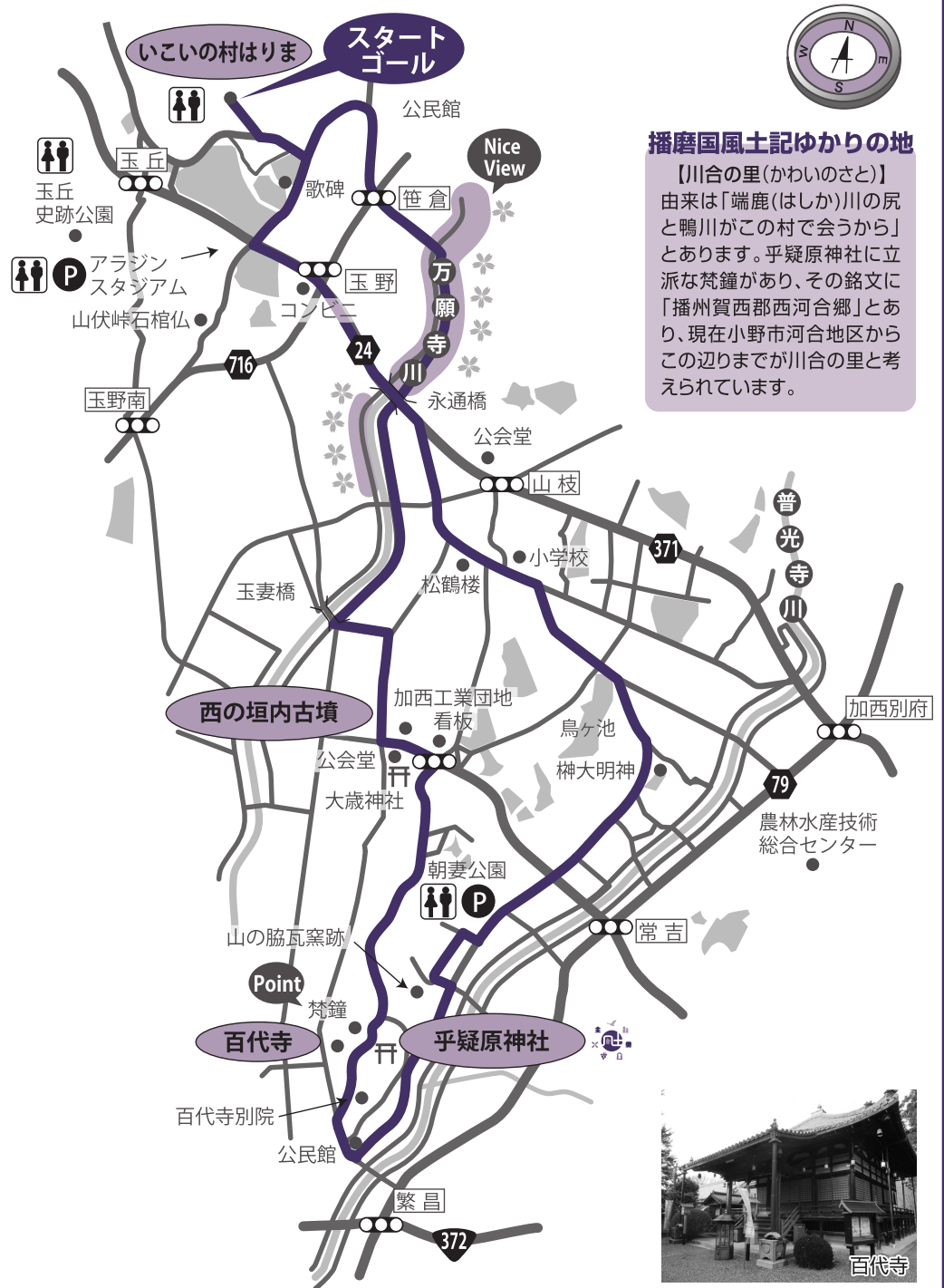
いこいの村はりまの広場をスタートし園内の道を通って、いこいの村はりまの入口を左折。道なりに歩き公民館前を右折し、まっすぐ進もう。笹倉信号を注意して横断し、町内を道沿いにまっすぐ進むと、万願寺川沿いの道になる。橋の近くの川沿いの道には桜並木が植えられている。玉妻橋を左折し、一つ目の村道を左折。突き当たりまで来たら右折し、しばらく歩くと左手に西の垣内古墳が見えてくる。公会堂がある十字路を左折し、加西工業団地の看板が建っている交差点を右折。工業団地内の歩道を南へ歩く。突き当たりまで来たら直進し、林の中の細い道へ入る。しばらく歩くと左手に乎疑原神社、右手には加西市指定文化財の梵鐘がある。乎疑原神社を過ぎると右手に百代寺がある。脇に赤い燈ろうが建てられた林の中の道を下り左折し、そのまま道なりに進む。民家の中を歩き、二手に分かれている道を右折し直進。左折すると県指定文化財「山の脇瓦窯跡」があるのでぜひ見てみよう。突き当たりを右折し、村道を道なりに歩こう。県道371号線と合流したら左折し直進する。アラジンスタジアム手前を右折し、池に沿って歩きゴールのいこいの村はりまへ到着。



いこいの村はりま

おぎはら  
イチオシ 乎疑原神社

隣接する百代寺と関係が深く、百代寺の僧は代々、乎疑原神社の別当職を兼ねていました。少彦名命(すくなびこなのみこと)を奉ずる一族がこの地を開拓して住みつき、時代とともに住吉信仰や天神信仰あるいは稻荷信仰の流行に沿って、次々とこれらの神々を合祀し現在に至ったものと伝えられています。石造五尊像や梵鐘は市指定文化財です。(住所:加西市繁昌町529)



播磨国風土記ゆかりの地

【川合の里(かわいのさと)】  
由来は「端鹿(はしか)川の尻と鴨川がこの村で会うから」とあります。乎疑原神社に立派な梵鐘があり、その銘文に「播州賀西郡西河合郷」とあり、現在小野市河合地区からこの辺りまでが川合の里と考えられています。



百代寺